

研究・教育・社会活動報告

網谷 祐一 (2021年4月～2023年3月)

1. 研究活動

著書

- 2022年6月 *Species Problems and Beyond*, edited by John Wilkins, Frank Zachos, and Igor Pavlinov, CRC Press (Wrote a chapter "Is Species Problem That Important?," pp. 39-64). ISBN: 103222147X

研究論文

- 2022年9月 "Do New Evolutionary Studies of Consciousness Face Similar Methodological Problems As Evolutionary Studies of Mind?" *Annals of the Japan Association for Philosophy of Science*, 31, pp. 31-53. [査読あり]
- 2021年12月 「山田大隆著『神が愛した天才科学者たち』のメンデルの項の誤記について」、『生物学史研究』、101号、69-73頁。
- 2021年4月 "Did Social Interactions Shape the Reflective Mind?," 『科学哲学科学史研究』、15号、1-24頁。URI: <http://hdl.handle.net/2433/262964> [査読あり]

研究発表 (主なもの)

- 2022年5月 "Finding Value-Ladenness in Science: The Case of Evolutionary Psychology," Tokyo Forum for Analytic Philosophy, University of Tokyo, Tokyo, Japan. [招待講演]

その他 (主なもの)

- 2021年10月 「新しい意識の進化研究の一翼をなす大著」(ギンズバーグ&ヤブロンカ著『動物意識の誕生』勁草書房の書評)、図書新聞、3517号、3頁。

競争的資金獲得

- 科学研究費補助金 基盤研究(C) 「アップデートされた「心の進化研究」の方法論的検討」(課題番号: 21K00036)、2021年4月-2024年3月(予定)、総額130万円(研究代表者)。

2. 教育活動

会津大学における担当授業 (2022年度)

- アカデミックスキル1・2
- 哲学(日・英)
- 科学史
- 課外プロジェクト(「AI・ロボットと倫理」)

3. 社会活動

一般向け講演 (主なもの)

- 2022年9月 「論文指導I」、みらいづ探究ラボ、會津稽古堂。
- 2022年7月 「研究とはなにか、どういう意味があるか」、みらいづ探究ラボ、會津稽古堂。

学外委員

- 日本科学哲学会(理事)、科学基礎論学会(評議員、企画広報委員、2020年度奨励賞選考委員会委員長)、『科学哲学科学史研究』誌(編集委員)

池本 淳一 (2021年4月～2023年3月)

1. 研究

学術論文

池本淳一、2021、「コロナ禍における学生支援に関するエスノグラフィ——会津大学教職員による学生への食料品支援を例に——」、会津大学文化研究センター研究年報第27号2020, pp.115～138 (査読なし)

著作等出版物 なし

共同研究

2022.5～2023.3「空き家対策の推進」(喜多方市・都市整備課との共同研究)

その他

池本淳一ほか、2021、「座談会 喜多方を探る：北方人はなぜ何かに向かって走っているのだ！」(星宏一、鈴木治代、池本淳一、司会・樟山敬一、構成・編集部による座談会)、『会津嶺』2021年2月号(No.503)、pp.4～14、あいづね情報出版舎(有)

池本淳一、2021.4、「特集序章 「武術と動画メディア論」 「動画で学ぶ武術」の変遷と可能性」、BAB ジャパン『月刊 秘伝』2021年5月号、pp.16～17

池本淳一、2021.11、「一健康と太極拳— フィールドワーカーが見た公園の太極拳とゆるやかさの源泉」、日本武術太極拳連盟『武術太極拳』、No.381、pp.14-15

製作物

池本淳一、「東北サファリパーク どうぶつ大接近!!」ほか計5作品(二本松をテーマにしたVR作品)、第52回福島ブロック大会 in 二本松 地域益増進発展事業『Experience Technology ～福島の未来のために～』(2022年7月2日開催) 出展、公益社団法人日本青年会議所東北地区福島ブロック協議会・福島の未来創造委員会様より奨学寄附金を授与

池本淳一、「デジタル未来のモノづくり～3Dモデルをつくろう!～」 「浮き出る物体!疑似ホログラム体験」、デジタル未来アート展(2023.3.18-27、会津若松市・稽古堂)、株式会社ルート49様(デジタル未来アート事業実行委員会からの事業受託者)より奨学寄附金を授与。

2. 教育・運営・FD活動

担当授業 アカデミックスキル1・2 社会学 地域社会学 Sociology (集中講義)

2020～2022年度前・後期 課外プロジェクト 社会調査とICTによる地域サポートプロジェクト

2020年度前期 課外プロジェクト 「人生100年時代」に向けた健康的なカラダづくり

サークル顧問 カンフーサークル

3. 社会貢献など

外部委員 2019.4～2023.3 会津美里町教育委員会点検及び評価における有識者会議委員

2020.10～2023.3 会津喜多方商工会議所 事業推進アドバイザー

2022.2.19～2023.2.19 喜多方市立小中学校適正規模適正配置審議会委員

学会関係 2019.6.1～2022.5 日中社会学会 大会担当理事

2019.9～2022.5 関西社会学会編集委員会専門委員

蛭名 正司 (2021年4月～2023年3月)

1. 研究活動 (著作・出版, 学会発表など)

【学会発表】

- ・蛭名正司 小野耕一「定数入れ替え原理」の理解が内包量の問題解決に及ぼす影響—中学校理科の湿度の場合— 日本教授学習心理学会第17回年会予稿集 (2021. 6)
- ・蛭名正司 割合の非加法性に関する理解調査—中学1年生を対象として— 日本教授学習心理学会第18回年会予稿集 (2022. 6)

【会津大学競争的研究費】

- ・ Learning support project using “Tsumazuki Share Board” 研究代表者 (2022.4-2023.3)

【会津大学Bクラスター】

- ・ ARC-Education (イノベティブ教育クラスター) メンバー (研究代表者, HAMADA Mohamed)

2. 教育活動

教育心理学, 教育方法, 教育課程論, 数学科教育法1, 数学科教育法4, 教職実践演習, 教育実習1, 教育実習2, 教育実習事前事後指導, アカデミックスキル1, アカデミックスキル2, 心理学 (2021年度のみ), 卒業研究, 課外プロジェクト「教師になろう！」

3. 学内運営 (委員会)

学生支援委員会 (2022年4月—)

教職課程委員会 (2022年4月—)

4. 社会活動

【委員等】

- ・会津若松市教育委員会点検及び評価における有識者会議委員(2018-)
- ・会津若松市通学区域検討委員会委員(2022.5)
- ・会津若松市立一箕中学校学校運営協議会委員(2020-)

【講師等】

- ・第25回会津Q-U学習会講師 (2021.9)
- ・仙台育英学園高等学校模擬講義講師 (2021.11)

【その他】

- ・オンライン学習会企画運営 (2020-2021)
- ・日本教授学習心理学会編集委員会事務局 (2019-)

小川 千里 (2021年4月～2023年3月)

1. 研究 (主要なもの)

(招待講演)

・ OGAWA, O.C., (2022). 'Lifelong Education for Professionals in Japan- Case Studies on Elite Athletes and School Teachers', The Teaching and Education Summit (TESUMMIT), Learning and Education, November 9-11, Proud Pen & Acavent (Online).

・ OGAWA, O.C., (2022). '[A Solution-focused Team Meeting Method with Business Facilitation: from Japanese Educational Settings](#)', the 5th Edition of the International Academic Conference on Teaching, Learning and Education, October 21-23, Athens, Greece (Online).

(学術論文)

・ OGAWA, O.C., (2022). 'Characteristics of Coaches' Behaviour Towards an Elite Japanese Athlete Displaying Psychosomatic Movement Disorders: A Longitudinal Case Study in Elite Sports Education', Paper presented at the 4th Edition of the International Academic Conference on Teaching, Learning and Education, March 11-13, Berlin, Germany, pp.40-47.

(学会発表)

・ OGAWA, O.C., (2021). 'Longitudinal Research on the Psychological Development of Elite Japanese Athletes during Retirement', The 32nd International Congress of Psychology, July 18-23, Prague, Czech Republic.

・ 小川千里・煙山千尋・小川俊樹・中岡孝剛・重野弘三郎 (2021) .「才能教育下にあるアスリートの心理的依存と自立に関する臨床的支援 (1) —大学生アスリートらへの調査に基づく現状査定—」, 第40回日本心理臨床学会 (自主シンポジウム)、2021年9月5日。

・ 小川千里・煙山千尋 (2022) .「スポーツ才能教育下にある『純粹培養』の指導者適性に関する研究」, 第41回日本心理臨床学会、2022年9月2-25日。

・ 小川千里・山下みどり・内野博之・木嶋葉子 (2022) .「教員とスクールカウンセラーの連携にまつわるエトセトラ」, 第18回日本教育カウンセリング学会 (自主シンポジウム)、2022年10月29-30日。

(競争的資金の獲得) (延長課題を含む)

・ 2021-2024年度 科研費 (基盤 C) 「スポーツ虐待防止のための指導者の依存性への介入の方略」 (代表)

・ 2018-2021年度 科研費 (基盤 C) 「大学生アスリートの依存性からみた自立と社会的適応」 (代表)

・ 2020年10月-2021年12月 「沖縄と東北地方の教育相談に関する交流研修会: 解決志向アプローチに基づく学校教育相談の習得と実践」 三井住友信託銀行公益信託宇流麻学術研究助成基金 (代表)

(受賞) サイエンティスト・プラクティショナー賞, 日本教育カウンセリング学会, 2022年7月10日。

2. 教育

(担当授業) キャリア形成入門 (2021), 心理学 (2022), アカデミックスキル2 (2022)

3. 社会貢献 (主要なもの)

(外部委員等) A member of the scientific committee and reviewers' board, Teaching, Learning and Education Conference, 日本教育カウンセリング学会査読委員, 神戸大学大学院経営学研究科研究員

(研修実施) 沖縄と東北の教員交流 教育相談交流会 (2021年8月)

(実務経験) IKEA ジャパン株式会社 IKEA 神戸 Logistics, オリビア心理カウンセリング研究所代表

沖 和砂 (2021年4月～2023年3月)

1. 研究 ※代表的な研究のみ記載

(学会発表)

- ・ 沖和砂, 中澤謙. 体育実技におけるオンライン講義と対面講義の学習効果比較Ⅱ, 日本体育・スポーツ・健康学会第71回大会, 学校保健体育-A-08, 2021.9.7 (口頭発表).

(学術論文)

- ・ 沖和砂. 2021年度の体育実技におけるオンライン講義と対面講義の学習効果比較, 会津大学文化研究センター研究年報(28), 5-10, 2021. (2022.3発行)
- ・ 渡部琢也, 沖和砂, 中澤謙. 2021年度会津大学短期大学部運動技術履修者の体力, 会津大学短期大学部研究紀要(79), 165-170, 2022. (2022.3発行)

(競争的研究費)

- ・ The 2022 University of Aizu Competitive Research Funding “An Exploratory Study of Risk Factors Inducing Sports Injury in Disabled Alpine Skiers” (研究代表者)
- ・ 令和3年度公益財団法人福島県学術教育振興財団助成金対象事業「コロナ禍における体組成計を用いた小中学生の肥満化傾向及び筋肉量の把握」(研究分担者)

2. 教育・運営・FD活動

(担当授業)

- ・ 体育実技1(3クラス)、2(3クラス)、4(スキー) ・ 保健体育理論 ・ 卒業研究
- ・ アカデミックスキル1、2 ・ SCCP(A unique sport in Aizu)

(学内委員会)

- ・ ハラスメント防止/対策委員会(ハラスメント相談員) ・ 衛生委員会
- ・ カフェリモデルプロジェクト ・ 学生支援WG ・ 創立30周年プロジェクトチーム
- ・

3. 社会貢献

(外部委員)

- ・ 福島県スキー連盟(総務本部長/副理事長)、国民体育大会福島県選手団女性コーチ
- ・ 福島県スポーツ指導者協議会(理事・講師)
- ・ 人類働態学会(理事・事務局長)
- ・ (公財)福島県スポーツ協会リーディングコーチ養成事業(講師)、スポーツ医事/トレーニング相談事業(講師)
- ・ 勿来工業高等学校ラグビー部メンタルサポーター
※勿来工業高等学校は2022年度7人制、15人制ラグビー全国大会出場

(講演活動)

- ・ 福島県スポーツ協会の各事業 ・ 福島県スポーツ指導者協議会
- ・ 福島県会津若松市立鶴城小学校 教養講座 ・ 福島県立勿来工業高等学校ラグビー部
- ・ 令和4年度福島県学校保健会県南支部学校保健講習会
- ・ スポーツ・レクリエーション指導者養成事業「福島県スポレク・アカデミー2022」

※県内外各所において講演活動を実施

荻間澤 勇人 (2022年4月～2023年3月)

1 研究活動 (著作・出版, 論文, 学会発表)

- ・清水由佳・荻間澤勇人(2021). 紙上進路指導ケーススタディ キャリアガイダンス, Vol. 441, Vol. 442, Vol. 443, Vol. 444, Vol. 445, リクルート
- ・荻間澤勇人(2022). グループアプローチ活用のススメ 日本教育評価研究会編 指導と評価 68 (通巻811号), pp. 31-33, (一社) 日本図書文化協会
- ・丹藤美津子・荻間澤勇人(2022). チーム支援会議にホワイトボード教育相談を位置づけた実践 2022年日本教育カウンセリング学会第19回研究発表大会発表論文集, pp. 55-56
- ・佐藤節子・鈴木英子・土屋隆子・伊藤なおみ・黒沢幸子・荻間澤勇人 (2022). 「ホワイトボードでできる解決志向のチーム会議」の可能性を探るー私たちが大事にしていることー 2022年日本教育カウンセリング学会第19回研究発表大会発表論文集, pp. 8-13

2 教育活動

- ・教育入門 ・教師入門 ・道徳教育 ・特別活動 ・生徒指導・教育相談 ・情報と職業
- ・教育実習事前事後指導 ・教育実習1・2 ・情報機器の活用に関する理論と方法
- ・教職実践演習 ・アカデミックスキル1・2

3 社会活動

(1) 会津大学公開講座

○教員派遣公開講座

- ・喜多方市立教育委員会
- ・会津若松町立小金井小学校
- ・会津坂下町立会津坂下南小学校
- ・会津美里町立高田小学校
- ・白河市教育委員会
- ・矢祭町立矢祭小学校
- ・会津坂下町立坂下中学校
- ・会津坂下町立坂下東小学校
- ・福島県教育センター
- ・白河市立釜子小学校

(2) 研究成果の還元 (研修会)

- ・岩手県一戸町教育委員会
- ・山形県教育センター (生徒指導協議会)
- ・山形市教育委員会
- ・盛岡市立黒石野中学校
- ・岩手県洋野町教育委員会
- ・山形県教育センター (5年次研修会)
- ・盛岡市立城東中学校

(3) 委員等

- ・会津若松市教育委員会 学力向上委員会 (委員長) (2016年度から)
- ・白河市いじめ対策連携協議会 (委員) (2018年度から)
- ・その他

(4) 学会活動

- ・日本教育心理学会 社員 (理事)
- ・日本特別活動学会 理事 (紀要編集委員)
- ・日本学級経営心理学会 常任理事 (査読委員, 広報委員)
- ・日本教育カウンセリング学会 常任理事 (事務局長, 査読委員)
- ・日本学校心理士会 年報査読委員
- ・日本教材学会 理事 (東北・北海道支部長)

小暮 克夫 (2021年4月～2023年3月)

1. 研究

(学術論文)

- Kogure, Katsuo and Masahiro Kubo, "Cambodian Refugees," HIAS Discussion Paper E-125, Hitotsubashi University, November 2022. (査読無)
- Kogure, Katsuo and Yoshito Takasaki, "A Comprehensive Analysis of Long-Term Impacts of COVID-19 Stay-at-Home Restrictions on Crime in Sao Paulo State, Brazil," unpublished manuscript, University of Aizu, March 2023. (査読無)
- Kogure, Katsuo and Kiyoyasu Tanaka, "Long-Term Impacts of Extreme Deprivation in Infancy, Childhood, and Adolescence," unpublished manuscript, University of Aizu, March 2023. (査読無)

(講演・口頭発表等)

- Kogure, Katsuo "Long-Term Impacts of Extreme Deprivation in Infancy, Childhood, and Adolescence," Workshop on Empirical Moral Science, Shikoku University, March 6, 2023. (査読無)
- Kogure, Katsuo, Comments on the Paper "Does the Existence of Overseas Members Make Households More Resilient against Natural Hazards? An Examination with the Post-earthquake Census Data in Nepal" by Tanaka et al., 2021 Japanese Economic Association Autumn Meeting, Osaka University (web), October 9, 2021. (討論)
- Kubo, Masahiro and Katsuo Kogure "Consequences of Cambodian Refugees," 2021 North American Summer Meeting of the Econometric Society, June 11, 2021, 2021 Asian Meeting of the Econometric Society, June 25, 2021, and 2021 Australian Meeting of the Econometric Society, July 8, 2021. (査読有)
-

(競争的研究費)

- 2020-24年度 科研費(基盤研究(C)). 「紛争と経済発展に関する実証研究」(研究代表者)
- 2018-22年度 科研費(挑戦的研究(開拓)). 「空間データと開発プログラム評価の統合」(研究分担者)
- 2018-23年度 科研費(国際共同研究強化(B)). 「熱帯雨林の保全と開発に関する学際共同研究」(研究分担者)

2. 教育・運営

(担当授業) 経済学(日本語), 経済学(英語), 経済発展論, アカデミックスキル1・2

3. 社会貢献

(出前講義)

- 「大学に必要な読解力・論理的思考力・記述力について」福島県立会津学鳳高等学校(1年生), 2021年12月20日.

(外部委員)

- 日本貿易振興機構(JETRO)アジア経済研究所(研究会委員)(2020-22年度), 一橋大学経済研究所(非常勤研究員)(2021-22年度), 国際協力機構(JICA)(アドバイザー)(2022年度), 会津若松地方広域市町村圏整備組合情報公開等審査会委員(委員)(2020-22年度)

清野 正哉 (2022年4月～2023年3月)

1. 研究活動等

・外部シンクタンクより、以下の内容のeラーニング講座の教育コンテンツの制作・監修し、2022年8月より配信開始。

「未来の教室をつくるGIGAスクール行政」, 「大学における研究データポリシーの策定」,

「大学における著作権対策と大学のオンライン講義」, 「地方自治体の情報政策研修」

また、「行政のデジタル化と教育現場のDX～デジタル田園都市構想とギガスクール構想の理想と現実」について講演(2022年11月)

・「どう守る？私たちの個人情報」のテーマのシンポジウム(会津若松市主催)で講演等(2023年2月8日)

2. 担当授業科目・学内委員会・公開講座等

(担当授業科目)

・コンピュータ理工学部 専門教育「情報倫理」、
教養教育「日本国憲法」、「法学」

SCCP 公務員・教員試験対策講座・ベンチャー/コンテンツビジネス(今年度休止)

(学内委員会)

・図書委員会

(公開講座・教員派遣講座等での担当可能テーマ)

「AIの法律・倫理問題」、「安心・安全のための情報の取り方」、「学校教育における情報モラル」、「クラウドコンピューティングの法律問題」、「ソーシャルメディアと企業経営」、「ソーシャルメディアなどのインターネット及びスマートフォンの利用におけるトラブル・法律問題とその解決講座」、「地域活性化のための方法論」、「企業経営や事業化のための資金調達の方法論」

2-2 学外 担当授業科目

竹田看護専門学校 「看護と法」

3. 教育実践・地域貢献活動

・県内中小企業及び県外企業、NPO法人、市町村からの相談多数 (相談内容の例 技術評価・技術マッチング、知的財産管理、著作権、商標・意匠事業、個人情報管理、企業経営戦略、資金調達、社内人材育成、ソーシャルメディア事業、新規事業戦略・方法、再生エネルギー事業、法令解釈 子ども子育て関係) (学外委員等)

・会津若松市行政不服審査会 会長

・会津若松市情報公開及び個人情報保護審査会 会長

・会津若松市子ども子育て会議 会長

・福島県後期高齢者医療広域連合情報公開・個人情報保護審査会 委員

・下郷町情報公開審査会 会長

・宮城県行政書士会会員 (登録のみ)

4. その他

・特許権 4747250号(代理人端末装置及び代理人端末装置の制御プログラム 2012年5月27日登録)更新中

中澤 謙 (2021年4月～2023年3月)

1. 研究

(競争的研究費)

- ・ 2022年度科学研究費補助金(基盤研究C) 保育者としての成長過程に沿ったVR-Learning教材の開発(研究代表者)

(研究発表)

- ・ 中澤謙, 久田泰広, 渡部琢哉, 西原康行(2023) VRを用いて代替可能な保育観察力形成要素の検討. 日本教育工学会 春季全国大会. 59-60
- ・ 日本教育工学会 2023年春季全国大会(第42回大会) 一般研究発表1 教師教育(1) 座長

2. 教育・学内運営

(担当授業)

- ・ 体育実技1(C2, C3, C5)、体育実技2(C1, C3, C5)、体育実技4(水泳)
- ・ 保健体育理論、アカデミックスキル1、アカデミックスキル2
- ・ 卒業研究
- ・ SCCP(Human Body Motion Analysis Project)
- ・ 運動と健康(短期大学部)

(学内委員会)

- ・ 情報センター運営委員会
- ・ 情報センター運用管理業務委託ワーキンググループ
- ・ カリキュラムワーキンググループ
- ・ 他

3. 社会貢献

- ・ 福島県スポーツ振興基金(理事)
- ・ 福島県スポーツ医・科学委員会(委員)
- ・ (公財)日本水泳連盟学生委員会北部支部(支部長)
- ・ 東北水泳連合(理事)
- ・ 東北地区大学体育連盟(評議員)

(大会運営)

- ・ 北部地区大学選手権水泳競技大会(郡山しんきんプール 主管校・会津大学)
- ・ 全国国公立大学選手権水泳競技大会(金沢プール・上訴審判)
- ・ 全日本学生選手権水泳競技大会(東京辰巳国際水泳場・上訴審判)

執筆者一覧（五十音順）

網谷 祐一 (A)	会津大学上級准教授（哲学・科学史）
池本 淳一 (A)	会津大学上級准教授（社会学）
蛭名 正司 (P)(A)	会津大学上級准教授（教育心理学）
小川 千里 (A)	会津大学上級准教授（経営学）
沖 和砂 (P)(A)	会津大学准教授（スポーツ健康科学）
荻間澤 勇人 (PF)(A)	会津大学教授（教育学）
小暮 克夫 (A)	会津大学上級准教授（経済学）
清野 正哉 (A)	会津大学上級准教授（法学・情報倫理）
中澤 謙 (A)	会津大学教授（保健学）

※ (PF)巻頭言 (P)論文 (A)活動報告

会津大学文化研究センター研究年報 第29号 2022

2023年 3月 31日 発行

発行 会津大学
郵便番号 965-8580
福島県会津若松市一箕町鶴賀
Fax 0242(37)2751
編集 会津大学文化研究センター

